

# 公式試合記録 (15人用)



公益社団法人 日本ホッケー協会

大会名 平成25年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技大会

種別	試合番号	年	月	日	時間	場所	ピッチ	
男子	8	H	25	8	3	11:05	九重町活いきランド	人工芝(L)

チーム名

徳島県立阿南工業高等学校

試合	2	-	0
(前半)	0	-	0
(後半)	2	-	0
延長	-	-	-
S O	-	-	-

チーム名

新潟県立巻高等学校

先発	No.	氏名	G	Y	R
✓	1	高野 敦也			
✓	2	西森 大貴			
✓	3	杉本 裕貴			
✓	4	岡田 大河			
✓	5	近藤 浩也			
✓	6	阿部 俊宜			
✓	7	秋本 祥輝			
✓	8	秋本 和秀		55	
✓	9	伊藤 夕雅			
✓	⑩	宮野 博史			
✓	11	布川 流			
	12	秦 大輝			
	13	川田 慎也			
37	14	黒川 勇磨			
32	15	中村 健太郎			

先発	No.	氏名	G	Y	R
✓	1	小林 勇希			
✓	2	久須美 桂佑			
✓	③	行田 祐介			
✓	4	灰野 拓己			
✓	5	早川 元貴			
✓	6	小湊 修也			
✓	7	近藤 弘典			
✓	8	荒川 拓也			
✓	9	斎藤 真矢			
15	10	斎藤 丈史			
✓	11	井澤 光			
26	12	小林 光			
18	13	古俣 真基			
✓	14	中澤 大地			
	15	室橋 幸介			

特記事項

監督 八張慎

アンパイア 竹内高広

サブアシストUP

ジャッジ 坪井公治

ジャッジ 本松悦子

監督 大泉修護

アンパイア 渡邊道彦

サブアシストUP

リザーブアンパイア 成田健一

T. O. 松本茂

チーム	時間	No.	種	スコア
阿南工	50	7	P C	1-0
阿南工	54	6	F G	2-0
				-
				-
				-

チーム	時間	No.	種	スコア
				-
				-
				-
				-
				-

チーム	時間	No.	種	スコア
				-
				-
				-
				-
				-

# 戦 評 用 紙



公益社団法人 日本ホッケー協会

大会名 **平成25年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技大会**

種別	試合番号	年	月	日	時間	場所	ピッチ	
男子	8	H	25	8	3	11:05	九重町活いきランド	人工芝(L)

チーム名

**徳島県立阿南工業高等学校**

試合	2	—	0
(前半)	0	—	0
(後半)	2	—	0
延長	—	—	—
S O	—	—	—

チーム名

**新潟県立巻高等学校**

先発	背番号	氏名	G	Y	R
✓	1	高野 敦也			
✓	2	西森 大貴			
✓	3	杉本 裕貴			
✓	4	岡田 大河			
✓	5	近藤 浩也			
✓	6	阿部 俊宜			
✓	7	秋本 祥輝			
✓	8	秋本 和秀		55	
✓	9	伊藤 夕雅			
✓	⑩	宮野 博史			
✓	11	布川 流			
	12	秦 大輝			
	13	川田 慎也			
37	14	黒川 勇磨			
32	15	中村 健太郎			

先発	背番号	氏名	G	Y	R
✓	1	小林 勇希			
✓	2	久須美 桂佑			
✓	③	行田 祐介			
✓	4	灰野 拓己			
✓	5	早川 元貴			
✓	6	小湊 修也			
✓	7	近藤 弘典			
✓	8	荒川 拓也			
✓	9	斎藤 真矢			
15	10	斎藤 丈史			
✓	11	井澤 光			
26	12	小林 光			
18	13	古俣 真基			
✓	14	中澤 大地			
	15	室橋 幸介			

TO	松本茂	ジャッジ	坪井公治	アンパイア	竹内高広	渡邊道彦
----	-----	------	------	-------	------	------

## 【戦 評】

阿南工業のセンターパスにより、前半戦が開始。両チームともに立ち上がり落ち着いた試合展開を見せる。守備堅めの巻に対し、阿南工が徐々に攻め上がる。サークル内でチャンスをつくるが得点には至らない。逆にピンチを切り抜けた巻も反撃を見せるが、集中した守備を崩せず一進一退の攻防が続く。前半20分阿南工がドリブル突破から劇的なチャンスを作るがGK#1小林の好セーブに阻まれる。巻も前半20分PCを取得するが、精彩を欠く。前半終了間際、阿南工#6が右からサークル内の#7に決定的なパスを出し、ダイレクトシュートを放つがわずかにゴールを外れ、0-0のまま前半を折り返す。後半が始まり、得点が欲しい両チームは果敢にゴールに攻め込む。50分、カウンター攻撃より、阿南工がたて続けにPCを取得。2本目を#7秋本がボールをゴール上段にドラックシュートを決め待望の先制点を挙げる。リズムを掴んだ阿南工は、54分、巻のゴールに攻め込み#6阿部が追加点を挙げる。追いつきたい巻は、FWにボールを集め突破口を見出そうとするが、阿南工の体を張った守備の壁を切り崩すことができず、そのまま試合終了。結果、前半0-0、後半2-0、トータル2-0で攻守ともに最後まで粘りを見せた阿南工が巻に勝利し、2回戦に駒を進めた。